



## 2021年11月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年1月12日

上場会社名 大阪有機化学工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4187 URL https://www.ooc.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安藤 昌幸  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 本田 宗一 (TEL) (06)6264-5071  
 定時株主総会開催予定日 2022年2月25日 配当支払開始予定日 2022年2月28日  
 有価証券報告書提出予定日 2022年2月28日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け、個人投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年11月期の連結業績(2020年12月1日~2021年11月30日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年11月期	35,027	22.1	5,852	31.8	6,253	35.6	4,998	50.9
2020年11月期	28,681	0.1	4,442	21.3	4,612	20.3	3,313	9.2

(注) 包括利益 2021年11月期 5,165百万円(48.8%) 2020年11月期 3,472百万円(28.6%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年11月期	225.65	—	13.6	13.1	16.7
2020年11月期	149.59	—	9.9	10.3	15.5

(参考) 持分法投資損益 2021年11月期 一百万円 2020年11月期 一百万円

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年11月期	49,868	39,125	77.5	1,744.45
2020年11月期	45,324	35,025	76.5	1,564.57

(参考) 自己資本 2021年11月期 38,645百万円 2020年11月期 34,658百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年11月期	5,837	△1,043	△1,830	9,593
2020年11月期	4,799	△3,976	△648	6,511

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年11月期	—	23.00	—	23.00	46.00	1,018	30.8	3.0
2021年11月期	—	25.00	—	25.00	50.00	1,107	22.2	3.0
2022年11月期(予想)	—	26.00	—	26.00	52.00		27.4	

## 3. 2022年11月期の連結業績予想(2021年12月1日~2022年11月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	16,200	—	2,900	2.0	3,000	△2.8	2,050	△8.8	92.54
通期	33,000	—	5,900	0.8	6,150	△1.7	4,200	△16.0	189.59

(注) 2022年11月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用するため、上記の連結業績予想は当該基準等を適用後の数値を記載しております。このため、「売上高」における対前連結会計年度及び前第2四半期連結累計期間との増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無  
新規 — 社（社名） 、除外 — 社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年11月期	22,410,038株	2020年11月期	22,410,038株
② 期末自己株式数	2021年11月期	256,517株	2020年11月期	258,203株
③ 期中平均株式数	2021年11月期	22,153,059株	2020年11月期	22,150,671株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(追加情報) .....	13
(セグメント情報等) .....	13
(1株当たり情報) .....	15
(重要な後発事象) .....	15

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における当社グループ（当社及び連結子会社）の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フロー（以下、「経営成績等」という。）の状況の概要は次のとおりであります。

#### 財政状態及び経営成績の状況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の全世界的蔓延の影響等により、経済活動の停滞が継続し、厳しい状況で推移しました。先行きにつきましては、感染拡大の防止策を講じつつ、経済社会活動のレベルが段階的に引き上げられていく中で、持ち直しに向かうことが期待されますが、資源価格の高騰等による景気の下振れリスクが高まるなど、今後の動向に注視する必要があります。

また、化学工業界におきましては、コロナ禍からの回復を背景に持ち直しの動きが継続し、需要の増加が見られております。

このような状況の下で当社グループは、2020年11月期より、長期経営計画「Next Stage 10」の後半となる、第2次5ヶ年中期経営計画をスタートさせ、その目標達成に向けて、各種施策に取り組んでおります。化成事業におきましては、選択と集中による製品の更新代謝を図り、採算性の向上に努めるとともに、グローバルに市場が拡大するUVインクジェットプリンター向け特殊インク用原料の拡販に注力いたしました。電子材料事業におきましては、次世代半導体材料開発の強化によるトップシェアの確保及び新規ディスプレイ材料の拡販に努めてまいりました。機能化学品事業におきましては、機能性ポリマーの開発を促進するとともに、化粧品原料や高純度特殊溶剤の拡販に取り組んでまいりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は350億2千7百万円（対前年同期比22.1%増）、営業利益は58億5千2百万円（対前年同期比31.8%増）、経常利益は62億5千3百万円（対前年同期比35.6%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は49億9千8百万円（対前年同期比50.9%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。（セグメント間取引を含んでおりません。）

なお、「3. 連結財務諸表及び主な注記 (5) 連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報等) 2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法 (報告セグメントの変更等に関する情報)」に記載のとおり、当連結会計年度より事業セグメントの利益又は損失の算定方法を変更しております。

#### ①化成事業

化成事業におきましては、アクリル酸エステルグループは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受けた自動車塗料用や光学材料向け粘着剤用を中心に販売が回復し、売上高は増加いたしました。メタクリル酸エステルグループは、塗料や粘着剤用などの販売が堅調に推移し、売上高は増加いたしました。また、売上高の増加等により、セグメント利益は大幅に増加いたしました。この結果、売上高は120億5千7百万円（対前年同期比22.5%増）、セグメント利益は9億3千8百万円（対前年同期比108.1%増）となりました。

#### ②電子材料事業

電子材料事業におきましては、半導体材料グループは、主力であるArFレジスト用原料の販売が引き続き好調に推移し、売上高は増加いたしました。表示材料グループは、テレワークやリモート授業などによるディスプレイの需要が好調に推移し、売上高は増加いたしました。また、売上高の増加等によりセグメント利益は増加いたしました。この結果、売上高は145億8百万円（対前年同期比15.4%増）、セグメント利益は34億3千万円（対前年同期比14.6%増）となりました。

#### ③機能化学品事業

機能化学品事業におきましては、化粧品原料グループは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により低迷した需要が緩やかな回復基調にあることや、2021年2月1日付で三菱ケミカル株式会社より、頭髮化粧品用アクリル樹脂の製造・販売の事業譲渡を受けたことにより売上高は増加いたしました。機能材料グループは、受託品の販売が

堅調に推移し、売上高は増加いたしました。また、利益率の高い製品比率の増加等によりセグメント利益は大幅に増加いたしました。この結果、売上高は84億6千2百万円（対前年同期比35.0%増）、セグメント利益は14億9千万円（対前年同期比44.9%増）となりました。

## （2）当期の財政状態の概況

当連結会計年度の総資産は、前連結会計年度に比べて45億4千3百万円増加し、498億6千8百万円となりました。主として現金及び預金の増加24億1百万円、受取手形及び売掛金の増加13億5千4百万円、製品の増加11億9千7百万円及び有形固定資産の減少6億8千9百万円などによるものです。

当連結会計年度の負債は、前連結会計年度に比べて4億4千4百万円増加し、107億4千3百万円となりました。主として支払手形及び買掛金の増加9億9千1百万円、未払金の減少5億1千4百万円、未払法人税等の増加9億円及び長期借入金の減少5億3千4百万円などによるものです。

当連結会計年度の純資産は、前連結会計年度に比べ40億9千9百万円増加し、391億2千5百万円となりました。主として利益剰余金の増加39億3千5百万円及びその他有価証券評価差額金の減少6千6百万円などによるものです。

## （3）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動により獲得した58億3千7百万円から、投資活動に10億4千3百万円投資し、財務活動において18億3千万円減少となったことなどにより、30億8千1百万円増加し、95億9千3百万円（対前年同期比47.3%増）となりました。

### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益71億7千7百万円、非資金損益項目である減価償却費24億3千5百万円、売上債権の増加額12億9千4百万円、たな卸資産の増加額12億9千3百万円及び法人税等の支払額12億8千6百万円などにより、58億3千7百万円の増加（前年同期は47億9千9百万円の増加）となりました。

### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、10億4千3百万円の減少となりました。これは、主に設備新設等に伴う有形固定資産の取得による支出23億1千3百万円及び投資有価証券の売却による収入12億3千6百万円などによるものです。

### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、設備新設資金等の長期借入れによる収入2億5千万円、長期借入金の返済による支出9億9千3百万円及び配当金の支払額10億6千3百万円などにより、18億3千万円の減少（前年同期は6億4千8百万円の減少）となりました。

## （4）今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症による世界経済への影響が長期化する中、原油価格の高騰や海運需給のひっ迫による輸送の混乱等、依然として先行きの不透明な状況が続くと予想されます。

このような情勢の下、当社グループといたしましては、2024年11月期までの第2次5ヶ年中期経営計画を基に、各事業におきましては次の課題に取り組んでまいります。

化成事業におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた自動車塗料用等は、回復基調で推移しており、安定供給に注力いたします。また、引き続き不採算製品の整理を行い、採算性の向上に取り組んでまいります。

電子材料事業におきましては、主力である半導体用ArFレジスト原料の拡販に努めるとともに、次世代のEUVレジスト原料においても生産体制を整えて需要に対応してまいります。また、新規ディスプレイ材料の販売の拡大を進めてまいります。

機能化学品事業におきましては、2021年2月1日に三菱ケミカル株式会社より頭髮化粧品用アクリル樹脂の製造販売事業を譲受いたしました。これにより、海外における化粧品原料の販売強化に注力いたします。また、子会社の神港有機化学工業株式会社における電子材料用溶剤の需要増加に対応してまいります。

これらを勘案し、次期業績目標は売上高330億円、営業利益59億円、経常利益61億5千万円、親会社株主に帰属する当期純利益42億円を予定しております。なお、2022年11月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等を適用するため、上記の連結業績予想は当該基準等を適用後の数値を記載しております。

#### (5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、長期的な観点に立ち財務体質と経営基盤の強化を図るとともに、株主の皆様へ安定的かつ継続的な利益還元を実施することを経営の重要課題として位置付けております。会社の業績や今後の事業計画に備えた内部留保の充実等を勘案してバランスをとりつつ、配当性向30%を重要な指標のひとつとし、業績に応じた配当額を決定いたします。

当期(2021年11月期)の配当につきましては、当初1株当たり48円(第2四半期24円、期末24円)としておりましたが、電子材料事業の販売が好調に推移したこと等により、当期純利益が大幅に向上したため、基本方針に基づき第2四半期の配当を1円増配の25円、期末の配当を1円増配の25円(年間配当50円)とさせていただきます。また、次期(2022年11月期)の配当につきましては、業績予想に鑑み1株当たり年間52円(第2四半期26円、期末26円)を予定しております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年11月30日)	当連結会計年度 (2021年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,521,760	9,923,730
受取手形及び売掛金	7,699,661	9,054,341
電子記録債権	465,049	419,513
有価証券	200,250	—
製品	3,688,947	4,886,661
仕掛品	2,013,799	2,038,298
原材料及び貯蔵品	1,476,641	1,706,178
その他	80,681	74,077
貸倒引当金	△12,387	△14,101
流動資産合計	23,134,405	28,088,700
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	17,125,742	17,568,717
減価償却累計額	△9,375,624	△9,877,562
建物及び構築物 (純額)	7,750,118	7,691,154
機械装置及び運搬具	27,415,197	27,921,299
減価償却累計額	△22,363,970	△23,570,739
機械装置及び運搬具 (純額)	5,051,227	4,350,559
土地	2,225,335	2,179,304
建設仮勘定	564,575	807,185
その他	3,056,251	3,161,370
減価償却累計額	△2,348,185	△2,579,886
その他 (純額)	708,065	581,484
有形固定資産合計	16,299,321	15,609,688
無形固定資産		
のれん	—	83,333
その他	70,728	58,263
無形固定資産合計	70,728	141,596
投資その他の資産		
投資有価証券	5,458,084	5,642,873
退職給付に係る資産	83,972	146,509
繰延税金資産	34,184	36,052
その他	243,694	202,932
投資その他の資産合計	5,819,935	6,028,369
固定資産合計	22,189,985	21,779,654
資産合計	45,324,390	49,868,355

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年11月30日)	当連結会計年度 (2021年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,201,121	4,192,756
1年内返済予定の長期借入金	968,666	759,920
未払金	1,913,480	1,399,135
未払法人税等	715,869	1,615,908
賞与引当金	43,000	—
役員賞与引当金	64,080	73,200
その他	647,446	646,916
流動負債合計	7,553,664	8,687,838
固定負債		
長期借入金	2,029,377	1,494,463
繰延税金負債	555,388	458,403
その他	160,686	102,591
固定負債合計	2,745,452	2,055,458
負債合計	10,299,117	10,743,296
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,600,295	3,600,295
資本剰余金	3,508,891	3,512,539
利益剰余金	26,068,688	30,004,244
自己株式	△435,195	△433,016
株主資本合計	32,742,680	36,684,063
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,168,185	2,101,591
為替換算調整勘定	△15,242	33,236
退職給付に係る調整累計額	△237,610	△173,194
その他の包括利益累計額合計	1,915,333	1,961,634
非支配株主持分	367,259	479,361
純資産合計	35,025,273	39,125,059
負債純資産合計	45,324,390	49,868,355

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年12月1日 至 2020年11月30日)	当連結会計年度 (自 2020年12月1日 至 2021年11月30日)
売上高	28,681,191	35,027,956
売上原価	20,271,218	24,778,402
売上総利益	8,409,973	10,249,553
販売費及び一般管理費	3,967,619	4,396,575
営業利益	4,442,353	5,852,978
営業外収益		
受取利息	1,682	1,663
受取配当金	144,385	134,987
為替差益	—	70,850
補助金収入	—	115,300
その他	78,777	85,232
営業外収益合計	224,845	408,033
営業外費用		
支払利息	9,109	6,944
為替差損	20,764	—
寄付金	16,000	—
損害賠償金	8,800	—
その他	—	492
営業外費用合計	54,674	7,437
経常利益	4,612,524	6,253,574
特別利益		
固定資産売却益	—	118,796
投資有価証券売却益	101,100	814,657
特別利益合計	101,100	933,453
特別損失		
固定資産除却損	113,157	9,990
ゴルフ会員権評価損	2,500	—
減損損失	7,776	—
特別損失合計	123,434	9,990
税金等調整前当期純利益	4,590,191	7,177,037
法人税、住民税及び事業税	1,202,845	2,151,359
法人税等調整額	13,616	△89,473
法人税等合計	1,216,461	2,061,885
当期純利益	3,373,729	5,115,151
非支配株主に帰属する当期純利益	60,184	116,261
親会社株主に帰属する当期純利益	3,313,545	4,998,890

## 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年12月1日 至 2020年11月30日)	当連結会計年度 (自 2020年12月1日 至 2021年11月30日)
当期純利益	3,373,729	5,115,151
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	111,230	△63,765
為替換算調整勘定	5,540	48,478
退職給付に係る調整額	△18,191	65,852
その他の包括利益合計	98,578	50,565
包括利益	3,472,308	5,165,717
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	3,414,651	5,045,191
非支配株主に係る包括利益	57,656	120,526

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年12月1日 至 2020年11月30日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,600,295	3,508,891	23,752,015	△441,707	30,419,495
当期変動額					
剰余金の配当			△996,749		△996,749
親会社株主に帰属する当期純利益			3,313,545		3,313,545
自己株式の取得				△295	△295
自己株式の処分			△123	6,808	6,684
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	2,316,672	6,512	2,323,185
当期末残高	3,600,295	3,508,891	26,068,688	△435,195	32,742,680

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	2,055,556	△20,782	△220,546	1,814,227	313,202	32,546,925
当期変動額						
剰余金の配当						△996,749
親会社株主に帰属する当期純利益						3,313,545
自己株式の取得						△295
自己株式の処分						6,684
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	112,629	5,540	△17,063	101,105	54,056	155,162
当期変動額合計	112,629	5,540	△17,063	101,105	54,056	2,478,348
当期末残高	2,168,185	△15,242	△237,610	1,915,333	367,259	35,025,273

当連結会計年度(自 2020年12月1日 至 2021年11月30日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,600,295	3,508,891	26,068,688	△435,195	32,742,680
当期変動額					
剰余金の配当			△1,063,334		△1,063,334
親会社株主に帰属する当期純利益			4,998,890		4,998,890
自己株式の取得				△1,193	△1,193
自己株式の処分		3,647		3,372	7,020
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	3,647	3,935,555	2,178	3,941,382
当期末残高	3,600,295	3,512,539	30,004,244	△433,016	36,684,063

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	2,168,185	△15,242	△237,610	1,915,333	367,259	35,025,273
当期変動額						
剰余金の配当						△1,063,334
親会社株主に帰属する当期純利益						4,998,890
自己株式の取得						△1,193
自己株式の処分						7,020
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△66,594	48,478	64,415	46,300	112,102	158,403
当期変動額合計	△66,594	48,478	64,415	46,300	112,102	4,099,785
当期末残高	2,101,591	33,236	△173,194	1,961,634	479,361	39,125,059

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年12月1日 至 2020年11月30日)	当連結会計年度 (自 2020年12月1日 至 2021年11月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	4,590,191	7,177,037
減価償却費	2,085,898	2,435,011
のれん償却額	—	16,666
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	74	1,714
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△33,439	△43,000
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	4,300	9,120
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	24,134	32,214
受取利息及び受取配当金	△146,067	△136,650
支払利息	9,109	6,944
為替差損益 (△は益)	11,379	△63,772
固定資産売却損益 (△は益)	—	△118,796
固定資産除却損	113,157	9,990
減損損失	7,776	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	△101,100	△814,657
補助金収入	—	△115,300
ゴルフ会員権評価損	2,500	—
売上債権の増減額 (△は増加)	678,366	△1,294,947
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△738,970	△1,293,716
仕入債務の増減額 (△は減少)	△969,568	953,270
その他	257,964	117,530
小計	5,795,704	6,878,660
利息及び配当金の受取額	145,047	136,775
利息の支払額	△9,087	△6,707
補助金の受取額	—	115,300
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△1,132,252	△1,286,320
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>4,799,411</b>	<b>5,837,707</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,960,000	△630,000
定期預金の払戻による収入	2,250,000	1,310,000
有形固定資産の取得による支出	△4,379,856	△2,313,825
有形固定資産の売却による収入	—	164,886
無形固定資産の取得による支出	△9,842	△17,037
投資有価証券の取得による支出	△5,357	△708,453
投資有価証券の売却による収入	126,880	1,236,027
投資有価証券の償還による収入	—	200,000
保険積立金の積立による支出	△5,121	△3,521
保険積立金の払戻による収入	6,726	—
事業譲受による支出	—	△245,520
その他	3	△35,863
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△3,976,568</b>	<b>△1,043,306</b>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年12月1日 至 2020年11月30日)	当連結会計年度 (自 2020年12月1日 至 2021年11月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	1,350,000	250,000
長期借入金の返済による支出	△980,710	△993,660
リース債務の返済による支出	△16,901	△14,049
自己株式の取得による支出	△295	△1,193
自己株式の処分による収入	60	—
配当金の支払額	△996,749	△1,063,334
非支配株主への配当金の支払額	△3,600	△8,424
財務活動によるキャッシュ・フロー	△648,195	△1,830,661
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,507	118,231
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	169,140	3,081,969
現金及び現金同等物の期首残高	6,342,620	6,511,760
現金及び現金同等物の期末残高	6,511,760	9,593,730

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

当社グループでは固定資産の減損会計や繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りについて、連結財務諸表作成時において入手可能な情報に基づき実施しております。新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響につきましては、2021年においては一部で回復の兆しが見込まれたものの、変異株の影響等もあり感染が収束する時期の見通しは困難であり、2022年においても一定期間は影響が継続するものと予想しております。当社グループの事業及び業績への影響につきましては、重大な影響を与えるものではないと判断しております。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

## 1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社及び子会社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、アクリル酸エステル製品を軸に事業展開をまいりました。従いまして、報告セグメントの決定にあたっては、アクリル酸エステルを発展的に応用した製品群のうち、製品の種類及び販売市場等の類似性を考慮し、「化成品事業」「電子材料事業」「機能化学品事業」の3区分を設定いたしました。

セグメントごとの主な事業内容は次のとおりであります。

セグメント名称	主な事業内容
化成品事業	塗料・粘接着剤・インキ向け特殊アクリル酸エステル等及びアクリル酸
電子材料事業	ディスプレイ・半導体関連を中心とした電子材料
機能化学品事業	化粧品・機能材料、その他

## 2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

(報告セグメントの変更等に関する情報)

当連結会計年度より、報告セグメントごとの業績をより適切に評価管理するため、共通費の配賦方法を見直し、報告セグメントの利益又は損失の算定方法の変更を行っております。

なお、前連結会計年度のセグメント情報は、変更後の報告セグメント利益又は損失の算定方法により作成したものを記載しております。

## 3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2019年12月1日 至 2020年11月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	連結財務諸表 計上額 (注)2
	化成品 事業	電子材料 事業	機能化学品 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,843,741	12,568,666	6,268,782	28,681,191	—	28,681,191
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	321,167	321,167	△321,167	—
計	9,843,741	12,568,666	6,589,949	29,002,358	△321,167	28,681,191
セグメント利益	451,055	2,993,027	1,028,338	4,472,420	△30,067	4,442,353
セグメント資産	6,773,428	13,554,517	3,841,507	24,169,453	21,154,937	45,324,390
その他の項目						
減価償却費	747,596	1,085,458	252,843	2,085,898	—	2,085,898
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,091,034	1,395,766	321,268	2,808,070	1,967,983	4,776,053

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

(2) セグメント資産の調整額は、セグメント間取引による債権の相殺消去107,952千円、各報告セグメントに配分していない全社資産21,360,186千円及び棚卸資産の調整額97,297千円が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金や投資有価証券であります。

2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2020年12月1日 至 2021年11月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	連結財務諸表 計上額 (注)2
	化成品 事業	電子材料 事業	機能化学品 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	12,057,373	14,508,444	8,462,137	35,027,956	—	35,027,956
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	377,554	377,554	△377,554	—
計	12,057,373	14,508,444	8,839,692	35,405,510	△377,554	35,027,956
セグメント利益	938,715	3,430,372	1,490,015	5,859,103	△6,125	5,852,978
セグメント資産	7,084,444	14,936,988	4,800,148	26,821,581	23,046,773	49,868,355
その他の項目						
減価償却費	703,556	1,446,704	284,750	2,435,011	—	2,435,011
のれんの償却額	—	—	16,666	16,666	—	16,666
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	46,252	568,044	537,337	1,151,635	494,623	1,646,258

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

(2) セグメント資産の調整額は、セグメント間取引による債権の相殺消去119,015千円、各報告セグメントに配分していない全社資産23,267,155千円及び棚卸資産の調整額101,366千円が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金や投資有価証券であります。

2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年12月1日 至 2020年11月30日)	当連結会計年度 (自 2020年12月1日 至 2021年11月30日)
1株当たり純資産額	1,564.57円	1,744.45円
1株当たり当期純利益金額	149.59円	225.65円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2019年12月1日 至 2020年11月30日)	当連結会計年度 (自 2020年12月1日 至 2021年11月30日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	3,313,545	4,998,890
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	3,313,545	4,998,890
普通株式の期中平均株式数(株)	22,150,671	22,153,059

## (重要な後発事象)

## (自己株式の取得)

当社は、2022年1月12日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項について決議いたしました。

なお、詳細につきましては、2022年1月12日付の「自己株式取得に係る事項の決定に関するお知らせ」をご参照ください。